



2024年3月11日

各 位

上場会社名 株式会社大盛工業  
代表者 代表取締役社長 栗城 幹雄  
(コード番号 1844 東証スタンダード)  
問合せ先責任者 取締役 経営管理本部長 及川 光広  
(TEL 03-6262-9877)

## 2024年7月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年9月14日に公表いたしました2024年7月期第2四半期累計期間及び2024年7月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 2024年7月期第2四半期累計期間業績予想数値(2023年8月1日~2024年1月31日)

(連結)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,667	286	268	192	10.97
今回修正予想 (B)	2,802	397	385	285	16.01
増減額 (B-A)	135	111	116	93	
増減率 (%)	5.1	38.9	43.2	48.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2023年7月期第2四半期)	2,750	276	309	243	16.28

(個別)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,983	285	267	203	11.60
今回修正予想 (B)	2,081	395	398	297	16.69
増減額 (B-A)	97	110	130	94	
増減率 (%)	4.9	38.8	49.0	46.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2023年7月期第2四半期)	1,946	249	287	235	15.73

## 修正の理由

### (個別業績)

第2四半期累計期間の個別業績における売上高につきましては、建設事業において工事の着工遅れ等により若干の減収となりましたものの、OLY事業につきましては、ほぼ予定通りの推移となったほか、不動産事業において下期に予定しておりました不動産物件の売却の前倒しが行えたこと等により、97百万円増加し、2,081百万円となる見込みです。

営業利益につきましては、建設事業において減収となりましたものの、工事費の低減、完成工事における設計変更額の増加等により完成工事総利益の大きな上積みが見られたほか、不動産販売利益の前倒し等により110百万円増加し、395百万円となる見込みです。

経常利益につきましては、営業利益の増加及び受取配当金収入の計上等により130百万円増加し、398百万円となる見込みです。

四半期純利益につきましては、経常利益の増加及び法人税、住民税及び事業税、法人税等調整額の計上の結果94百万円増加し、297百万円となる見込みです。

### (連結業績)

第2四半期累計期間の連結業績につきましては、子会社につきましてはほぼ予定した推移となり、売上高2,802百万円、営業利益397百万円、経常利益385百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益285百万円の業績となる見込みです。

## 2. 2024年7月期通期業績予想数値(2023年8月1日～2024年7月31日)

### (連結)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,646	463	434	327	18.68
今回修正予想 (B)	6,106	581	557	384	21.55
増減額 (B-A)	△540	118	123	57	
増減率 (%)	△8.1	25.6	28.4	17.6	
(ご参考)前期実績 (2023年7月期)	6,054	451	433	293	19.04

(個別)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,700	354	360	288	16.47
今回修正予想 (B)	4,437	523	549	386	21.63
増減額 (B-A)	△262	169	189	97	
増減率 (%)	△5.6	47.9	52.7	33.9	
(ご参考)前期実績 (2023年7月期)	4,007	266	313	235	15.30

修正の理由

(個別業績)

通期の個別業績における売上高につきましては、建設事業における工事入札環境の熾烈化が増す状況から、新規工事の受注が予定より遅れ、当該工事の当期完成工事高の計上が減少する見込みから262百万円減少し、4,437百万円となる見込みです。

営業利益、経常利益につきましては、建設事業において減収となります一方、工事費の低減、完成工事における設計変更額の増加等により完成工事総利益の上積みが図れたこと等により、営業利益523百万円、経常利益549百万円となる見込みです。

当期純利益につきましては、経常利益の増加及び法人税、住民税及び事業税、法人税等調整額の計上の結果97百万円増加し、386百万円となる見込みです。

(連結業績)

通期の連結業績につきましては、子会社の港シビル株式会社における港湾・河川関係工事の入札競争激化による受注減少に伴う完成工事高、完成工事総利益計上の未達が見込まれることから売上高6,106百万円となります一方、その他建設事業の完成工事総利益の上積み等により、営業利益581百万円、経常利益557百万円、親会社株主に帰属する当期純利益384百万円の業績となる見込みです。

(注) 通期の連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以上